

連 時

Renpoh

No. 328

発行日●平成30年3月31日
発行人●飯田メディカルヒルズ
編集 IMH 広報委員会
長野県飯田市毛賀 1707 番地
TEL 0265 - 26 - 8111 (代)

特集

地域包括ケア ~在宅訪問~

多職種で地域住民の皆様をサポートしています

本院 輝山会記念病院



上久堅診療所



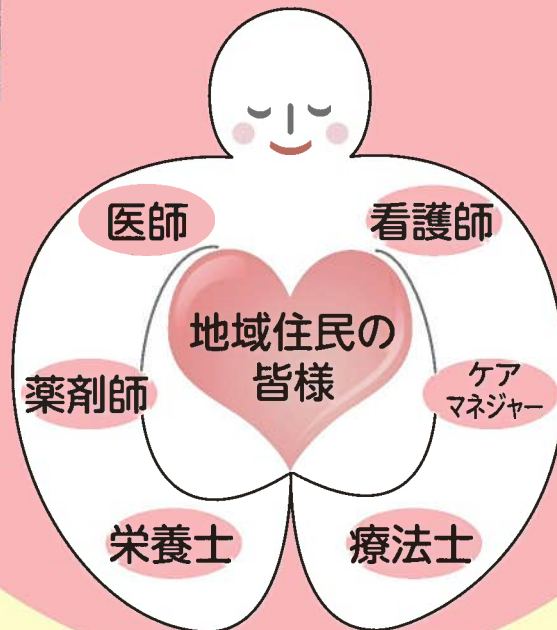
下條診療所



下久堅診療所



訪問看護
ステーション



目次

■ 特集

P2 訪問診療のご紹介

P3 家庭で出来る褥瘡予防のご紹介

P4 訪問での摂食嚥下リハビリ

P5 訪問での栄養・食事相談

P6 就職のための見学会開催のご案内

訪問診療のご紹介

診療所師長 岩下 そのえ



訪問診療は、通院が困難な患者様の事情を考慮して、在宅で可能な医療を行います。（お薬の処方、血液検査、傷や床ずれ等の処置、留置カテーテルの交換、点滴・注射、在宅酸素等）

末期癌や老衰で治癒を望めない状況となっても、患者さんが少しでも長くご自宅で生活が送れるようケアを提供します。また、必要に応じて訪問看護ステーションと連携しつつ、在宅生活を支援させていただきます。住み慣れたご自宅で、安心して生活が出来るようお手伝いします。

当法人の訪問診療は各「在宅支援診療所」（上久堅・下久堅・下條）よりご自宅に伺っています。患者様の同意を得た上で、地区別、曜日別に計画を立て、月2回程度の訪問をします。また、24時間対応の体制をとっておりますので、緊急時の往診や必要に応じて訪問看護も利用可能です。

◆訪問診療の対象となる方

- ・ 御家族、介護者の手を借りないと通院ができない方
- ・ 病気や障害を持ちながら、ご自宅で療養されている方
- ・ 終末期をご自宅で過ごしたい方

◆訪問診療のエリア

- ・ 下久堅、上久堅診療所 …………… 飯田市（山本地区の一部を除く）、
喬木村（一部を除く）
 - ・ 下條診療所 …………… 下條村、阿南町（一部を除く）
- ※上記の地区半径 16 km以内

訪問診療に関するお問い合わせは、各在宅支援診療所にご相談ください。

上久堅診療所
TEL 0265-29-7015

下久堅診療所
TEL 0265-29-6011

下條診療所
TEL 0260-27-1191



家庭で出来る褥瘡予防のご紹介



訪問看護ステーション所長 久保田 美恵

褥瘡とは、「床ずれ」「寝だこ」といわれるもので、主に自分の力で動くことが出来なくなった高齢者や障がい者の方に見られます。同じ姿勢での寝たきりなどにより、皮膚が圧迫されて発生する、治りにくい傷です。

褥瘡の発生の直接原因には

- A. 外力（圧迫やズレ）と骨突出が合わさることによる血流不全
- B. 車椅子姿勢の崩れ（お尻が前方にズレた姿勢や傾き）

例えば

- ・健康で歩けていても急に体のどこかに痛みが出たり、徐々に起き上がる力が弱くなってきた。
- ・同じ姿勢で寝ていることが多くなった。
- ・転んでから、右ばかり向いて寝ている。
- ・座椅子にもたれて座っていて、あまり動かない。

などがあります。

さらに上記の要因には

- ①栄養状態の低下、やせ
- ②骨突出、関節拘縮
- ③むくみ、発汗、失禁
- ④知覚鈍麻、知覚麻痺
- ⑤観察不足、介護力（知識、技術）不足

例えば

- ・最近、食事の量が減ってきて痩せた。
- ・リハビリパンツに失禁している。
- ・足が冷えるので湯たんぽを使っていて、低温やけどをした。
- ・お風呂は一人で入っているため様子がわからない。

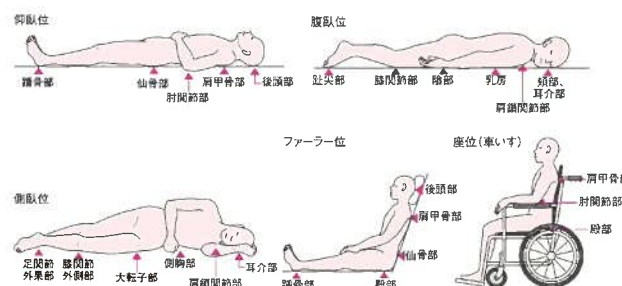
などが加わることで発生や悪化することが多くなります。

これらが当てはまったら、お尻や足の付け根の骨の辺りやかかともを見せてもらいましょう。そして発赤（時間がたっても消えない赤み）や、水疱（水ぶくれ）ができていたら、褥瘡のでき始めかもしれません。かかりつけの医師に診てもらいましょう。

予防は

- ・観察する。
（骨突出部位の皮膚の状態、好んでいる姿勢、寝具の不具合、装具や靴などを装着している部位や周囲の皮膚の状態など）
 - ・圧迫を取ることで、点ではなく面で体を支える、隙間を埋める。
（体の向きを変える、圧迫の位置を変える、座り直しなど）
 - ・皮膚を清潔にする。（入浴、おむつ交換など）
 - ・栄養状態を保つ。（栄養補助食品の活用）
 - ・リハビリテーションを行う。
（能力・筋力維持、ポジショニングなど）
 - ・介護力を補う。（介護保険の利用など）
- などが挙げられます。

自分の力で動くことが出来なくなった方を初めて介護する場合は、早めに主治医や地域包括支援センターなどへ相談しましょう。



（参考）褥瘡の好発部位

出展：看護 roo！（<https://www.kango-roo.com/>）

訪問での摂食嚥下リハビリ

言語聴覚士 下井 隼人



自宅で生活している高齢者の方の中には、脳血管疾患や加齢など種々の原因により摂食嚥下障害が生じている方がいらっしゃいます。

当院の訪問看護ステーションでは、摂食嚥下障害を抱えながらも在宅で生活している方に対して、言語聴覚士が自宅へ訪問しリハビリテーションを行っています。

摂食嚥下障害は栄養不足のみならず、誤って気管支や肺に食べ物が入ってしまうことで誤嚥性肺炎の危険性があります。そのような方に対しては、飲み込みの機能向上・維持を目的とした「摂食嚥下訓練」が有効な場合があります。訓練の内容としては主に「間接訓練」と「直接訓練」があります。

「間接訓練」とは食べ物を用いずに行う訓練です。マッサージや体操を行い、飲みこむのに必要な器官の働きを改善させることを目的としています。

「直接訓練」は実際に食べ物を用いて行う訓練です。姿勢や食べ物の形態の調整等を行い、誤嚥を防止しながら行います。

その他にも食べ物が誤って気管に入ってしまった場合に、吐き出す事ができるよう咳の練習や、口腔ケアの実施・ケア方法の助言等も必要に応じて行います。また、実

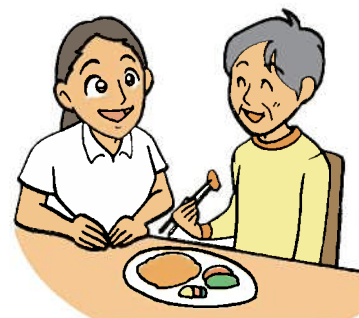
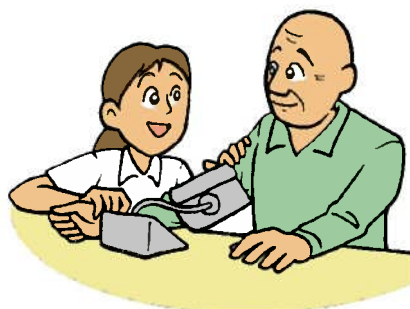
際の食事場面も考慮し、食事内容や形態、姿勢の調整、介助の方法など安全な食事環境の設定を、ご家族の方へお伝えします。

また、当院では医師、理学療法士、言語聴覚士、栄養士等の多職種で「在宅訪問摂食嚥下チーム」を立ち上げています。私たちは実際に生活されている環境下で飲み込みの機能を適切に評価した上で、利用者一人一人に合った「口腔ケア」、「摂食嚥下リハビリ」、「適切な形態の食事提供」等の実施を行います。それにより誤嚥を予防し、出来る限り長期に渡って口から食事がとれるようにお手伝いしております。

今後もチームアプローチにより各々の専門性を活かし、利用者の方々それぞれのニーズに沿った関わりをしていきたいと考えています。



輝山会訪問看護ステーション



多職種で構成された「在宅訪問摂食嚥下チーム」で利用者様をサポートしています

訪問での栄養・食事相談

管理栄養士 下原 彩香



平成27年11月より訪問による栄養・食事相談を開始しました。在宅生活での食支援のために、利用者様の想いに寄り添うことを第一にお話させて頂いています。

在宅訪問は、管理栄養士の観点から食事風景など、日常の様子を拝見させていただくことが出来るため、その時の状態に適した、より細かなアドバイスが出来ます。ご希望があれば台所をお借りし調理させて頂くこともあり、相談内容は多岐に渡ります。

在宅療養されている方、及びご家族（79名）を対象に行った食事療養に関するアンケートの結果をご紹介します。（図1）

この結果から、様々な食事への不安を抱えている方が多いことが分かりました。

管理栄養士として、介護者様の「日頃と様子が違うな？」という気付きにも耳を傾け、再入院の予防と住み慣れた環境での安定した生活の継続をサポートしていきたいと思えます。

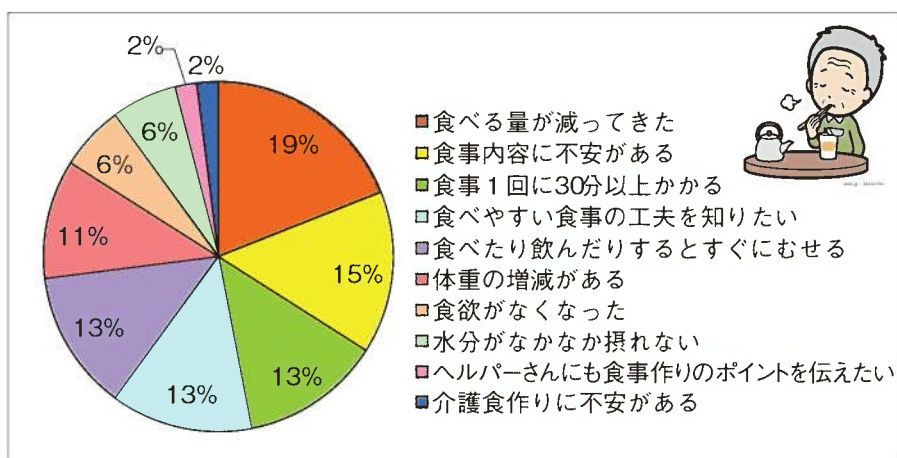


図1：食事療養に関するアンケート

◆ 対応例 ◆

「腎臓病があるので食事療法を始めたなら好きなものが食べられなくなってしまう？」

→好きな料理や食材に制限があってもおいしく食べられるような工夫を紹介します。またカリウムを減らす調理を一緒に行なったり、実際の食品の目安量を見て確認してもらったりします。

「体が不自由になってきて料理するのも負担になってきた」

→下処理の少ない食材で、調理動作の負担も少ないレンジや炊飯器、バーミクス（ミキサー）などを使った簡単なレシピを紹介します。また栄養バランスの良い市販惣菜の選び方や配食サービスなども紹介します。

「だんだんと体重が減り、体力も落ちてきている」

→間で食べられる栄養価の高い補助食（ヨーグルト、アイス、栄養補助食品等）を嗜好に合わせて紹介するなど、体重を減らさないための食事の摂り方をアドバイスします。

「むせやすくなったり、硬いものも食べられなくなってきた」

→とろみ剤の紹介のほか、実際に軟菜食やとろみを使った調理も行います。嚥下が不安な食材でも食べられるように試作や検討を行います。

広域医療法人 輝山会 就職のための見学会開催のご案内

開催日 平成30年4月29日(日)

時間 10時00分～11時30分
(受付9時30分～10時00分)

場所 当院8階 レインボーホール



内容



法人グループ概要説明



応募要項・採用試験説明



各職種・部署相談



施設見学



専門職体験コーナー



※申込は電話、メール、FAXにてお願いします。
当日参加も歓迎です。

TEL (0265) 26-8111 FAX (0265) 26-9690

E-mail info@kizankai.or.jp

URL <http://www.kizankai.or.jp/>



きざんかい 見学会

検索 

参加対象 学生、新卒予定者、中途採用希望者(具体的には下記の職種を希望する者)

医師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士、臨床工学技士、社会福祉士、介護福祉士、管理栄養士、保育士、看護・介護補助者、事務職など

8月下旬～9月上旬にも見学会を開催予定!!当法人HP等にてお知らせ致します。